

# ジャーナリスト 下村満子氏講演会

## 「日本人の心」の再生なくして、日本の再生はない！

日本だけではないかもしれませんが、調和と安定を誇ってきた日本社会も、最近では親殺し、子殺し、教育現場でのいじめ、高齢者に対する詐欺、親の死後も年金を騙し取る子供、貧困者や弱者を騙すビジネスなどの諸々の犯罪が毎日のように報道されています。

最近少し明るい兆しが見えているとはいえ、日本経済は長い停滞期が続き、日本の国の信用は地に落ち、若者たちは未来に対する夢と希望が持てず、失業や就職難の不安におびえ、元気がなく、思考停止し、小さな世界に閉じこもり、内向き、保守的になっており、日本社会全体が、革新性、エネルギー、ダイナミズムを失い、鬱状態と言っても言い過ぎではない、と下村満子氏は言います。世界における日本の国の地位の低下、政治の危機、経済の危機、教育レベルの低下、メディアの衰退などが言われていますが、その状況を打破するために、私たち、一人一人は何をすべきなのでしょう。

日本の国力、経済力、政治・外交力、教育力の根本的な再生のためには、短期決戦の魔法の杖はなく、時間をかけた「日本人の人間力の回復・再生」、言い換えれば「日本人の心の再生」に取り組むしかなく、それにはまず、一人一人が変わることから始めるしかないと、下村氏は考えています。

世界を揺るがずスクープを挙げ国際的な賞を受賞したジャーナリストとして、また赤字続きの病院を一年で建て直した経営者として、ドラマチックな人生を歩んできた下村氏に、「心の再生」のために、ゼロから、真剣に、「生きるとは何か」「命とは何か」「何のために生きるのか」「何を基軸に生きるべきなのか」について、お話し頂きます。



### ■プロフィール

ジャーナリスト。元「朝日ジャーナル」編集長。医療法人社団「こころとからだの元氣プラザ」前理事長。「福島県男女共生センター」前館長。慶應義塾大学経済学部卒。ニューヨーク大学大学院修士課程修了（経済学専攻）。1965年に朝日新聞入社後、「週刊朝日」記者、朝日新聞ニューヨーク特派員、「朝日ジャーナル」編集長、朝日新聞編集委員を歴任。女性で初めてポーン上田国際記者賞を受賞したのを始め、日本翻訳出版文化賞、アテナ国際賞など。ハーバード大学ニーマン特別研究員に招聘。フリージャーナリストとして活躍のかたわら、両親の事業を引き継ぎ、財団法人東京顕微鏡院理事長に就任、続いて医療法人社団「こころとからだの元氣プラザ」を設立、性差医療の第一歩を開いた。役職多数。主な著書に『松下幸之助「根源を」語る』『Made in Japan-Akiko Morita and Sony』『日本たたきの深層 - アメリカ人の日本観』『編集長下村満子の好奇心』『いい男の時代』『ソ連人のアメリカ観』『アメリカ人のソ連観』『ハーバード・メモリーズ-アメリカのこと・日本のこと』『いのちとは何か、生きるとは何か』他多数。

日時：5月15日(水)

受付・開場 18:00 ~

18:30 ~ 19:40

会場：日本クラブ5階さくらルーム

会費：会員 10 ドル / ゲスト 15 ドル (ドリンク付)

講演会終了後、ご希望の方は下村満子氏と一緒に実費にて夕食会にご参加頂けます。事前にご予約下さい。

お申し込みは、まずお電話 (Tel:212-581-2223)、またはE-mail (yhonda@nipponclub.org) をお願い致します。その後、お申し込み用紙に小切手を添えて、5月13日までに事務局(本多)までご郵送下さい。なお、5月13日午後5時以降のキャンセルにつきましては、ご返金致しかねますので、何卒ご了承下さい。

detach here

### 下村満子氏講演会・お申し込み用紙 (5/15/13)

お名前:

会員番号:

ご住所:

電話番号:

同封金額:

※ 小切手の送付先:

The Nippon Club, Inc. 145 West 57th St., New York, NY 10019 Attn: Ms. Honda